

京都市子ども安全ネットワークニュース

vol. 1 平成16年4月 発行：京都市子ども安全会議事務局

(教育委員会体育健康教育室 213-5472)

第1回京都市子ども安全会議の開催

地域ぐるみで子どもを守るため、具体的な取組が紹介され、活発な論議

～「こども安心安全パトロール中」のステッカーを作成

先ず教育委員会の公用車から～

近年、学校内や通学路において、子どもの安全に関わる事件・事故が全国的に多発してきており、学校・家庭・地域の連携による子どもの安全対策が今まで以上に重要となってきています。

そのような中で京都市では、本年4月に、学校・PTA、人づくり21世紀委員会等の代表と教育委員会が、子どもの安全対策について話し合い、総合的・系統的な安全対策を推進するため、「京都市子ども安全会議」が発足。その第1回の会議が4月21日、総合教育センターで開催され、各校・地域における具体的な取組事例が紹介され、活発な論議が交わされました。



会議の中で、PTA代表から、自転車のかごに「パトロール中」のプレートをつけているように、京都市の公用車にもステッカーを貼って走ってはどうかとの提案があり、まずは教育委員会の公用車から実践しようと、その場で決定しました。早速、ステッカーを作り、ゴールデンウィーク明けから、メルカーなどの両サイドに貼って業務に当たります。参加者は、それぞれ「危機感」「使命感」を持って具体的な取組を展開することを確認しました。このほか、会議で出された主な意見は、次のとおりです。

こども
あんしん・あんぜん
パトロール中

京都市子ども安全会議

京都市PTA連絡協議会 人づくり21世紀委員会 京都市地域生徒指導委員会
京都市学校保健会 京都市立学校校長会 京都市教育委員会



小学校PTA連絡協議会では、各単位PTAに安全対策マニュアルや安全マップづくりを呼びかけている。ある支部では、それぞれに作成したマニュアル・マップを見せ合い、情報交換を行っている。

保護者等による校門での声かけ運動は、いじめ・不登校対策から防犯・安全対策に目的が変わり、多くの小学校で行われている。地域の方々も積極的に参加していただいている。

「してくれる人」「してもらう人」の関係では子どもの安全は守れない。自分たちでできることは何か、考え、行動することが大切である。

防犯ブザーは、たしかに一つの安全対策ではあるが、単に与えるのではなく、子どもたち自身にも、「自分で自分を守る力」を育てることが大切である。

防犯訓練は、子どものみならず、教職員の意識向上にもプラスに働くので、もっと取り組むべきである。